



【教科書】						
【参考資料】 レジュメ・資料を配布する。						
【成績の評価方法・評価基準】 完成した電子回路および報告書を中心に、実習への取り組み方、授業態度等を総合的に判断して評価する。						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		電子回路製作実習			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル		評価方法 自己評価
1	仕様決定	有用な電子回路となるよう、適切に仕様を決定する。	1	仕様決定	各種電子回路の仕様書を正しく制作する。	
2	事前測定	回路設計前に必要な測定があれば準備する。	1	事前測定	測定器を正しく選定し、必要な測定を行う。	
3	回路設計	仕様に基づいた回路設計を行う。	1	回路設計	完成した際に、仕様を満たすよう設計する。	
4	部品調達	入手できる電子部品を調査し、部品を調達する。	1	部品調達	E12, 24系列や半導体素子等電子部品について理解を深める。	
5	手書きアートワーク	調達した電子部品を用いてプリント基板設計する。	1	アートワーク	方眼紙を用い、プリント基板のアートワークを作成する。	
6	プリント基板製作	完成したアートワークからプリント基板を製作する。	1	プリント基板製作	手書き転写、エッチング作業を行う。	
7	部品実装	完成したプリント基板に部品を実装する。	1	部品実装	はんだ付け作業を行う。パターン手直し等有り。	
8	検査・調整	正しく動作するか検査し、調整の必要な回路については調整を行う。	1	検査・調整	測定器を正しく選定し、検査・調整する。	
9	測定	各種電子回路の特性について理解し、測定する。	1	測定	測定器を正しく選定し、必要な特性について測定する。	
10	報告書の作成	上記 1~9の項目について報告書にまとめる。	1	報告書の作成	ここまでの作業、測定結果を報告書にまとめる。	
11	納品	完成した電子回路を報告書とともに納品する	1	納品	完成した電子回路を納品して実習完了する。	

		ノ。。					
12	※備考	以上11課題であるが、各個人で進捗状況が異なる。ある項目に数週間掛かる場合もある。					
13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							